

2021コレクション展Ⅲ

(南蛮人遊楽図屏風)(部分) 江戸時代初期 太平洋セメント株式会社蔵(津久見市寄託)



温故知新

豊国の

Developing
New Ideas
Based on
Study of the
Past in Oita

2021

11/9 [火] - 12/20 [月]

|| 前期 || 11月9日(火)~11月30日(火)

|| 後期 || 12月2日(木)~12月20日(月)

休展日: 12月1日(水)は展示替えのため休展

大分県立美術館 3階 コレクション展示室

◎開館時間 10:00~19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

◎観覧料 一般300(250)円 大学生・高校生200(150)円

※()内は有料入場20名以上の団体料金 中学生以下は無料

※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金

※高校生は土曜日に観覧する場合は無料

※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が

教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料

※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料

※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください

※企画展半券提示で1枚につき1回無料

OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum



温故知新

豊国の国

Developing
New Ideas
Based on
Study of the
Past in Oita

異文化を積極的に受け入れる進取の気風に富む大分。戦国時代にはキリスト教の保護と南蛮貿易を積極的に推し進めた大友宗麟のもとで、彩り豊かな南蛮文化が開き、江戸時代には中国の南宗画の精髓を極めた田能村竹田がこの地に豊後南画を根付かせました。また、近代に入ると、竹の特質を生かした清新な作品によりその造形に新生面を切り拓いた生野祥雲齋が出て、大分の竹工芸を大きく飛躍させました。

本展は、津久見市に所蔵されている貴重な南蛮関係資料を特別公開するとともに、当館のコレクションによりこれらの豊の国の芸術文化の足跡を辿ります。



1. 《詩絵螺鈿聖者像聖龕》安土桃山時代～江戸時代初期 太平洋セメント株式会社蔵(津久見市寄託)
2. 田能村竹田《琴客観瀑図》1834年
3. 高山辰雄《山》1973年
4. 生野祥雲齋《陽炎》1958年 ※後期のみ展示

《特集展示》

此君礼賛

おいた竹ものがたり

vol.2

大分の竹工芸の歴史と魅力をご紹介します。

PICK UP
アーティスト

生野 徳三

生野徳三《白竹の籠 洋》1990年



関連イベント

講演会

「考古学と科学で解き明かすキリシタン大名・大友宗麟と南蛮文化」

講師 後藤晃一(大分県立埋蔵文化財センター副所長)
日時 2021年11月23日(火・祝) 14:00-15:30
会場 大分県立美術館 2階 研修室
参加費 無料(要事前申込) 定員 40名

申込み

お電話(097-533-4500)またはメール(app@opam.jp)へ、件名にイベント名、メール本文にお名前とご連絡先をご記入の上、お申込みください。定員に達し次第、締切とさせていただきます。

ギャラリートーク

開催日 2021年11月14日(日)、12月5日(日) 各日14:00～15:00

※予約不要・要展覧会観覧券



展示会情報



OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036 大分市寿町2番1号
Tel: 097-533-4500 Fax: 097-533-4567
JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分 大分ICから車で10分
<http://www.opam.jp>

同時期開催の企画展

相田みつを全貌展～いのちの尊さ ことばのチカラ～

会期 2021年11月26日(金)～2022年1月23日(日) 会場 3階 展示室B

GENKYO 横尾忠則 「原郷から幻境へ、そして現況は？」

会期 2021年12月4日(土)～2022年1月23日(日) 会場 1階 展示室A